

立川市民科で学校も地域も元気に！

第18回「立川教育フォーラム」をオンラインで開催

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、当初たましんRISURUホールで開催予定だった「立川教育フォーラム」は、立川動画チャンネルにて配信いたします。

今年度は、市立小・中学校の立川市民科の取組について、ご紹介いたします。さらに特別講演では、国立教育政策研究所長の浅田和伸氏に、各学校からの発表について講評いただくとともに、未来に向けた教育のあり方についてお話を伺います。

後日、映像を配信する予定です。詳しくは教育委員会のホームページをご覧ください。
■指導課・内線2499

テーマ 立川市民科で学校も地域も元気に！

- 内容**
- 第三小学校の実践発表「ファーレ錦町 ～商店街活性化アートプロジェクト～」
 - 松中小学校の実践発表「麦プロジェクト」
 - 上砂川小学校の実践発表「玉川上水を守るために～今、私達ができること～」
 - 立川第一中学校の実践発表「SDGsに関する学習」

講演 演題：「教育は人を幸せにするためのもの ―教育が未来を創る―」
講師：浅田和伸先生

立川教育フォーラムとは？

教育の充実と推進を図るために、保護者、市民、教職員が一堂に会した場で、教育実践等を紹介するフォーラムです。平成16年度から今年度で18回目を迎えました。学校教育を通して、よりよい社会をつくるために、私達がすべきことは何か、フォーラムを通じて、共に考えましょう。



講師プロフィール
浅田 和伸 先生

香川県豊島出身。島にある町立の幼・小・中から県立の新設高校へ。大学で心理学を専攻し、卒業後に文部省(現在の文部科学省)に就職。

これまでに県教育委員会の指導課長、内閣官房の教育再生実行会議担当室長、大学入試センター理事、文部科学省の大臣官房審議官、総合教育政策局長などを務め、令和3年1月から現職。平成21年度から3年間、都内の公立中学校長も務めた。

『週刊教育資料』『月刊教職研修』『内外教育』などに連載、執筆しているほか、著書に『子どもといっしょに成長しよう 3日で気が楽になる「親」の本』(ジアス教育新社)、『教育は現場が命だ 文科省出身の中学校長日誌』(悠光堂)がある。

立川市の
歴史と
文化財

47

五日市街道と砂川の開発



北が上 中央を東西に走るのが五日市街道
五日市街道沿いに屋敷地や防風林があり、その背後の「短冊形地割」がよくわかる。
国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」より昭和22年(1947)の航空写真(米軍撮影)をトリミングして使用

幸町にある川越道緑地古民家園には、立川市指定有形文化財である小林家住宅が移築・復元されています。小林家住宅は、今から170年前の嘉永5年(1852)に建築されました。小林家は砂川九番組に属し、その住宅はもともと五日市街道に面して建てていました。

五日市街道は江戸から五日市を結ぶ道で、旧砂川町(立川市北部)を東西に貫いています。五日市街道はかつて伊奈道と呼ばれていました。伊奈(現あきる野市)の周辺は伊奈石と呼ばれる良質の石材の産地で、石を加工する石工の人々もいたようです。徳川家康の関東入府後、江戸城を改築した時に伊奈の石工が江戸との往復に使ったのが始まりとされています。

立川市北部の砂川地区は、江戸時代の新田開発以前は利用できる水が少なく無人の原野でした。砂川の開発は、寛永4年(1627)ごろに、かつ

て残堀川が流れていた現在の砂川町三・四丁目付近から始まりますが、まだ小規模なものだったようです。本格的に始まったのは、玉川上水完成から3年後の明暦3年(1657)に砂川分水ができてからです。分水は玉川上水から引かれ、五日市街道沿いに流れました。今では分水口は松中橋の袂ですが、これは明治3年(1870)からで、もともとは天王橋と稲荷橋の間の南岸にありました。砂川分水が五日市街道に沿って流れるようになったことで、水を利用できるようになり、砂川の開発が大きく進むようになりました。開発者たちは五日市街道に面して屋敷地を設け、その背後に畑地をつくったので、このあたりは南北に細長い長方形の「短冊形地割」が特徴です。

屋敷地には母屋の南側に作業などをするための広場となり、母屋の他に蔵や釜室、外便所などが造られました。砂川地区は風が強いので屋敷地の周りには、高木となるケヤキやカシの木を植え、防風林としました。そのため五日市街道は昼間でも暗く、「モグラ街道」とも呼ばれたそうです。

こうして砂川村は五日市街道沿いに東西に長くなったのです。砂川村は西から一番組(八番組)に分かれ、九番組(砂川新田)、十番組(砂川前新田)が後に加わりました。この「一番」という呼び名も、一番町以外は住所にも使われず、駅やバス停、交差点にその名をのこすだけになっています。

現在では開発も進み、砂川分水は五日市街道の北側脇を流れていますが、大部分で暗渠となっており水の流れを見ることはできません。またモグラ街道と呼ばれた五日市街道沿いの防風林も、一部だけがかつての姿をとどめています。

■歴史民俗資料館(生涯学習推進センター)文化財係
☎(525)0860